科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
看護形態機能学Ⅲ	１年次　後期	必修	講義	２単位（３０時間）	野上　聡子　※

授　業　概　要

生命維持の日々営まれる日常生活行動の視点から、からだの構造と機能を学習する。ここでは「お風呂に入る」「話す」「聞く」「こどもを産む」に関わるからだの仕組みについて学ぶ。

到　達　目　標

１．「食べる」ことに関するからだの仕組みについて説明する。
２．　排便・排尿に関するからだの仕組みについて説明する。
３．　清潔を保つことによって保たれる皮膚の機能とその構造を説明する。
４．コミュニケーションに必要な「話す」「聞く」ことに関わる体の仕組みについて説明する。
５．「こどもを産む」ことに関するからだの仕組みについて説明する。

実務経験のある教員

野上　聡子、明地　由紀子：看護職の臨床経験をふまえて基本的な生活行動における形態機能について教授する

回	学　習　内　容	担当教員
1-15	１．食べる １）食欲　　２）食行動：「食べる」の一連の行動 ３）咀嚼し味わう　　４）嚥下 ５）消化と吸収：消化管の構造と機能　消化管運動　消化液分泌と調節 ６）代謝：物質代謝とエネルギー代謝、栄養とエネルギー ７）栄養状態の指標 ２．トイレに行く １）排尿 ２）排便 ３．お風呂に入る １）垢をおとす ２）皮膚と粘膜　　①表皮　　②汗腺・脂腺・毛 ３）温まる ４．話す・聞く １）声を出す　　２）聞く　　３）言葉 ５．子どもを産む １）男と女　　２）遺伝子組み換え　　３）性交と受精 ４）赤ちゃん　５）生殖を支えるホルモン　６）出産	野上　聡子　※ 明地　由紀子 ※

学　習　方　法

講義、課題学習、演習

評　価　方　法

科目修了試験、課題学習

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
看護 形態機能学　生活行動からみるからだ　　菱沼典子　　日本看護協会出版会
系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能①　解剖生理学　坂井健雄 他　著　医学書院